

創立100周年記念式典

1924~2024

「わたしの霊によって」



2025年11月10日(月)

関西聖書神学校 ルカ棟ホール

〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町6-32-15

第一部 記念礼拝 10:00-10:50

式次第

司式 馬場一朗副理事長
奏楽 田中恵子姉

前奏	神のみ山	
招詞	詩篇 100篇	司式者
賛美	新聖歌 140	
祈禱		司式者
聖書朗読	ゼカリヤ書 4章6節 使徒の働き 1章8節	司式者
説教	「神の霊、神のことば、神の人」	川原崎晃理事長
祈禱		鎌野善三師
来賓挨拶	日本伝道隊 理事長 東京聖書学院 院長 日本イエス・キリスト教団辰野キリスト教会 牧師	三宅弘之師 錦織 寛師 藤森牧男師
賛美	新聖歌 436	
献金		
頌栄	讚美歌21 27	
祝禱		川原崎晃理事長
後奏		

第二部 記念講演会 11:00-12:00

司会 金井由嗣師

講演者紹介
祈 禱

鎌野直人校長
井上義実師

記念講演 新潟聖書学院 前院長

中村 敏師

「聖霊と御言葉に導かれて-松江バンドから関西聖書神学校迄」

質疑応答
祈 禱

田口 学師

記念撮影

第三部 昼食会 12:15-13:00

マタイ棟食堂

*マルコ棟ロビーにて神戸キリスト教書店が書籍を販売しております。ご利用ください。

第四部 記念集会 13:30-15:30

司 会 鎌野直人校長
賛美リード 山川哲平師

賛 美

過 去

100年を写真で振り返る
卒業生・修業生 全リスト

賛 美

現 在

お祝いのメッセージ

ランハム・パートナーシップ 国際アンバサダー

クリストファー・ライト師

大阪公立大学 非常勤講師

エスター・マックストン師

ジャパン・クリスチャン・リンク 宣教担当ディレクター

セルバン・アンクテル氏

賛 美

将 来

パネルディスカッション

日本伝道隊 湊川伝道館牧師

朴 鐘皖師

日本フリーメソジスト 桜井聖愛教会牧師

大澤恵太師

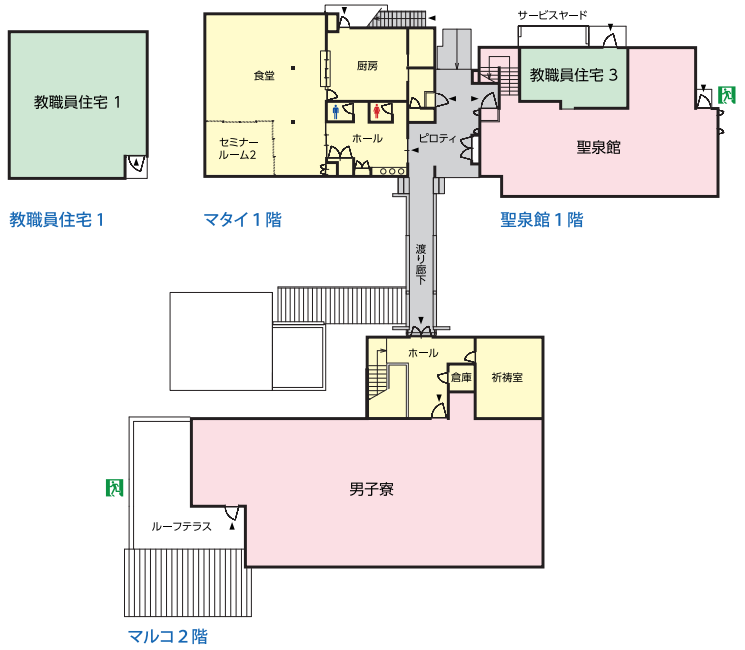
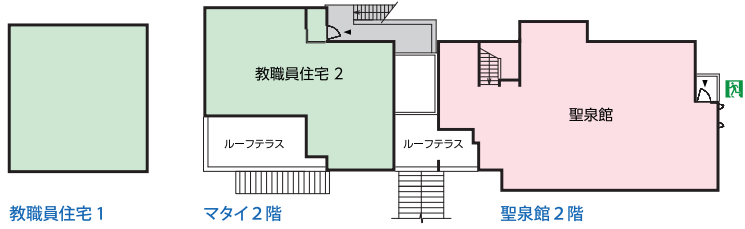
日本イエス・キリスト教団 芦屋川教会牧師

八幡直人師

日本イエス・キリスト教団 和歌山教会牧師

中村真理子師

賛 美



関西聖書神学校の歴史(敬称略)

- 1890年 B・F・バックストン来日
- 1897年 P・ウィルクス来日
- 1902年 バックストン帰英
- 1903年 英国で日本伝道隊発足
- 1904年 東京で日本評議会発足
- 1905年 日本伝道隊本部が神戸に移転、神戸基督伝道館開設
- 1907年 聖書学校設立
- 1923年 竹田俊造、日本伝道隊を退団

- 1924年 神戸御影に聖書学舎設立、澤村五郎校長就任
- 1925年 自立聖書義塾合流
- 1926年 舞鶴修養所が開所
- 1927年 各種学校として認可される

- 1930年 男女とも神戸塩屋に移転
- 1931年 大講堂建築
- 1934年 ウィルクス召天
- 1937年 バックストン最後の来日
- 1940年 宗教団体法施行、日本伝道隊の宣教師離日
- 1941年 太平洋戦争開戦
- 1942年 聖書学舎としての最後の卒業式
- 1945年 敗戦

- 1946年 バックストン召天、神戸神学塾発足(のち神戸神学院に改称)
- 1950年 関西聖書学校として再開
- 1953年 ステパノ神学校合流
- 1957年 関西聖書神学校と改称
- 1964年 講堂・男子寮建築
- 1967年 聖泉館建築
- 1973年 向後昇太郎校長代行就任
- 1975年 向後昇太郎校長就任
- 1977年 有賀喜一校長就任、澤村五郎召天
- 1981年 後援会設立
- 1989年 工藤弘雄校長代行就任

1990年	日本伝道隊と日本イエス・キリスト教団による共同経営調印
1993年	ロバート・トーナ校長就任
1995年	阪神淡路大震災、船田武雄校長就任
1996年	基礎科が始まる
1999年	金井由信校長就任
2002年	工藤弘雄校長就任
2004年	神学校保全プロジェクト
2010年	足立幹夫校長代行就任
2012年	中沢隆一校長代行就任(のち校長)、本科四年制が始まる
2015年	鎌野善三校長就任
2017年	鎌野直人校長就任
2020年	新型コロナウイルス感染症、新校舎第一期建築、三学期制へ変更
2022年	伝道者二年コースが始まる、宗教法人関西聖書神学校設立、 教団日本伝道隊より土地の贈与
2024年	創立100周年
2025年	新校舎第二期建築、創立100周年記念式典

卒業生・修業生数(2025年4月現在)

聖書学舎(1927年から1945年) 男 130名 女 44名 合計 174名

舞鶴修養所(1927年) 女 7名 合計 7名

神戸神学塾・神戸神学院(1947年から1951年)

男 9名 女 3名 合計 12名

関西聖書学校・関西聖書神学校(1952年から2025年)

卒業 男 444名 女 429名 合計 873名

修了 男 47名 女 57名 合計 104名

(うち、女1名は本科も卒業)

聴講終了 男 12名 女 18名 合計 30名

基礎科修了(1996年度から2011年度)

男 35名 女 51名 合計 86名

(うち、男24名、女24名、合計48名は本科卒業、男1名、女6名、合計7名は修了、女1名は聴講終了)

のべ 男 677名 女 609名 合計 1,286名

実数 男 652名 女 577名 合計 1,229名

*なお、校友会名簿などに記載されているが卒業、修了の記録が神学校に残っていないものが、146名いる。

100周年記念メッセージ(受付順、*は卒業生・修業生)

-
- 高原幸男* 在校当時、男子寮と食堂の2階に祈祷室があり、そこに『聖臨在』の額の書が飾られていた。早天祈祷会が毎朝そこで行なわれて身が引き締まる時であった。卒業後も『聖臨在』の場をどこかに設け、祈祷所を備えてこそ成長すると、小島伊助恩師に教えられた事は忘れない。
-
- 大頭眞一* 次の100年？ものごとすべて、そして100周年にも光と影がある。光は多くの働き人が育てられたこと。影はペリカンの「伝統主義とは生きている人間の死んだ信仰」を引用すれば足りる。
-
- 土屋開夫* 20歳の時に東京から塩屋に入学しに来た時は、とても遠く、地の果てに来たかと思いました。神学校でお気に入りの場所は屋上で、海を見ながら、また星をみながら、聖書について、イエス様についてゆっくり黙想しました。
-
- 富澤誠治* 神学校の木造の古い建物が思い出されます。現在は立派な新しい建物群になったことをお祝いします。これまで私たちを育ててくださった神学校、これからも新しい人材育成が続きますように、それによってキリスト者の群れである教会が形成されて育てられる神学校の使命が主が来られる日まで続きますようにお祈りいたします。現在感謝なことは牧師職をまっとうし老人介護施設で生活しています。
-
- 富澤博江(服部)* 関西聖書神学校100周年をお祝いいいたします。富澤誠治牧師夫人として働きをまっとうできたことを感謝しています。現在は夫と共に老人介護施設で生活しています。
-
- 鎌野善三* 1963年完成の校舎で、学生として4年半、舎監として4年、校長として2年、過ごしました。中学1年生の時、それ以前にあった日本風建築の講堂でもたれたバイブル・キャンプの思い出もあります。用いられた3代の建物に感謝。
-
- 上里 亘* 私の神学校時代は沢村五郎師、向後昇太郎師、有賀喜一師と3代の校長の下、多くの先生方のご指導を受け、聖書中心の学びと祈祷重視の厳しい訓練を受けました。学生数も多く賑やかな神学生時代でした。感謝あるのみ。
-
- 浅利翔也* 私が御校2年生の時に、旧聖泉館から現在の校舎への引越をしたことが、神学校時代の思い出です。そのような節目の時に学ばせていただけて感謝しています。関西聖書神学校100周年、誠におめでとうございます。
-
- 森 桂子* 「是は権勢によらず、わが霊によるなり」(ゼカリヤ4:6)。私は、塩屋の神学校を卒業し、57年を経、今、主人を天に送り、引退教師です。毎朝のデイポーションと執りなしに加え、この時代に献身者が起され、その学舎である神学校のために!! 三位の神が意図して聖書に現して残して下さった聖霊なる奥義を見落とすことなく、主イエス様を通して人類の罪の赦し、天国への望み、自我の磔殺、聖化、その愛、真実、公正、そして、尊厳を証しています。創立者達のスピリットを尊び、学び、踏襲して行くことが出来る様、祈っております。

松浦 剛*	私は関西聖書神学校で1968～1971年の4年間学び、卒業後現役と嘱託合わせ52年間牧師をした。開拓伝道を43年間できたのも母校での学びと訓練のおかげと信じている。100年を期し母校が使命を果たされることを祈る。
松浦みち子*	1968年関西聖書神学校の門をくぐり、沢村・小島師の薫陶をいただいたことを感謝する。全校90名余の個性豊かな神学生で溢れる中で訓練を受けた。現場の開拓では臨在の主の恵みを味わう日々であった。
坪内信治*	100周年おめでとうございます。国籍を超えて、年齢を超えて、主に召された先生方、兄姉との出会い、交わりは今に至るまで大きな宝となっています。主によって用いられる神の器がさらに起こされるように祈ります。
山本和雄*	献身して塩屋に入学した時、私は58歳で、同級生は自分の子どもたちと同じ年齢でありました。新しいことを学び、毎日コツコツ学が事を教えられました。教室から見る大阪湾は今でも目に浮かびます。
鍋島 猛*	バックストン来朝70年の4月、初代の木造学び舎に迎えられ、1964年4月、学び舎二世の起工式の日に塩屋から巣立ちました。本日は、学び舎三世において御影から100年の恵みに与る光栄を感謝し、祝福を祈ります。
鍋島敏子*	神学校での学び、奉仕教会での訓練、寮生活での交わりでは、献身者、伝道・牧会者としてのスピリットを賜りました。卒業式では、神学生一同(60名余)で「ハレルヤ・コーラス」をリードオルガンの伴奏で合唱！忘れられない思い出です。
加藤 満*	関西聖書神学校は神学を学ぶだけでなく、自分の限界と生ける神様の豊かさを学ぶ場所でした。どれも今に至るまで続く学びです。大切な基礎を作って頂きました。主から召された私の分を果たしていきたいです。
長内慶喜*・央子*	関西聖書神学校創立100周年おめでとうございます。塩屋での学びと訓練をいただけたことを心から感謝しています。主の働き人が全世界に派遣され、福音宣教の実が結ばれるために関西聖書神学校がますます主に用いられますようお祈り申し上げます。
山本範子*	100周年の喜びの時、ご一緒出来ますことを感謝致します。卒業後も可能な限り、塩屋の敷地内に足を運んでいます。10代からの「神に近づく山」のイメージは変わりません。これからも励まし続けてくれることでしよう。
森田悦弘	全ての神学校建築工事が終わった年に神学校創立100周年を祝えることに奇しい神の摂理を覚えます。ますます福音宣教を進め、人々に慰めと励ましを与える神学生が起こされますように
大澤恵太*	100周年、おめでとうございます。関西聖書神学校は、今も私にとって大切な場所です。主の輝きを放って神の国拡大のために仕える働き人の育成のために、いよいよこの場所が用いられるようお祈りいたします。
日本イエス・キリスト教団八幡福音教会	祝百周年！当教会も卒業された先生方に養われ今日あること、また当教

	会から関西聖書神学校で学ばれた先生方が活躍されていることを感謝します。主の働き人がなお豊かに輩出されますようお祈り申し上げます。
有賀喜一*	「わたしの霊によって」(ゼカリヤ4:6)。塩屋でのみ言葉と聖霊体験(1955年6月6日)は、自己の無能、神の全能。万事聖霊、万事祈祷。92歳現役、宣教67年、終わりを全うする原理を確立させて頂きました。
小岩裕一*	関西聖書神学校100周年、主にあって、おめでとうございます。主が導かれた霊的遺産と共に、現代の困難な時代に間に合う奉仕者が育てられ遣わされることをお祈りいたします。
小野淳子*	ハレルヤ！100周年心より主を崇めます！1969年～1972年(22歳～25歳)神学生として、1996年～2009年(49歳～62歳)舎監・教師として霊の恵みに浴させて頂き満腔の感謝！後輩の続出の為熱祈！
田中裕明*	100周年おめでとうございます！聖化の恵み、臨在の主とともに歩んでこられた先輩方の足跡が、関西聖書神学校の歴史を彩り、塩屋の文化を作り上げてこられたのですね。私もその流れに加えられたことを感謝し、御名を崇めます。さらに時代を経ても、善きものを継承しつつ、時代に即して大胆に変革する学び舎となりますようお祈りいたします。
川原崎晃*	伝道者としての型を造っていただいた神の学び舎が、今日まで用いられてきたことを感謝します。続けて、聖霊に満たされた主の器づくりのために用いられますようお祈りします。
石川剛士*	100周年おめでとうございます。旧校舎、旧講堂での礼拝、学びの中で現在の牧会生活の骨となる部分を、学ばせていただきました。新しくなった校舎は快適でしたが、古い校舎に思い入れのある私は少し寂しさも覚えました。ただ早天祈祷会に神学生と出席させていただき、祈りは変わらないことを実感しました。これからも祈りの学び舎として用いられるよう沖繩の地からもお祈りしています。
石黒則年	KBC、創立百周年をお喜び申し上げます。小生、1983年頃から2023年度まで(中断あり)、OT緒論、ヘブル語、OT釈義といった科目の教育を担当いたしました。かつての神学生がたが、伝道牧会に励んでおられるのを喜び、また感謝しております。
具志堅昭*	神学校生活の四年間、受ける恵、削がれる恵の連続でした。100年の歴史の一部に加えられていることに感謝。主のご再臨の時まで尊く用いられ続ける学舎でありますように。100周年おめでとうございます。
後藤真*・伯子*	100周年おめでとうございます。たくさんの同学年の仲間たちと、厳しくも楽しい学びと訓練を受けました。感謝します。卒業してから21年が経ちましたが、宣教の現場で求められることは常に変わり続けてきたと実感しています。神学校100年の歴史は、その時代に必要とされる働き人をを作る歴史であったと思います。これからも、それぞれの時代に間に合う器が育てられていきますよう、お祈り申し上げます。

藤木隆男	「2025年の神学校」新校舎の建築イメージは、“海に向かって建つ”です。それは、「学び」/「暮らし」/「祈る」ための『場所』であり『器(うつわ)』です。キャンパスのどこからでも海が臨め、どこでも祈れます。
長田栄一*	困難な時代の中にあっても、神の恵みの泉が湧き広がる神学校として、神様が祝福して用いてくださいますように。詩篇84:5、6
工藤弘雄*・須美子*	100周年おめでとうございます。32年間塩屋の山にて献身者と共に祈り、学び、主の恵みを分かち合った日々を感謝します。松江バンドの中心として塩屋の山のさらなる祝福を祈ります。
藪野潤一*	1986年に卒業しました。神学校で伝道者、牧会者としての基礎作りをしていただきました。以来、教えていただいたことを試行錯誤しながら遣わされた現場で行ってきました。人間関係がますます複雑な時代になっています。そういう時代に間に合う神の器がさらに起こされることを期待しています。
石川良治	私は23歳の時1991年の塩屋聖会の初めて大きな集会に参加しました。教会に行き始めてまだ1週間の私には、イエス様の十字架、救い、バプテスマという言葉すら知りませんでした。神の導きで5月3日の聖会、夜の聖会に嫌々出ました。山田晴枝先生という方がお証しをされました。私は神の業を聞き嬉しくて涙しました。この人の信じてる神を私は信じたい。聖会最後の招きに前に出ていき、そこで何が何だかわからないけど、この人たちの仲間になりたいと、神を信じる決心をしました。関西聖書神学校は私にとっては聖地です。
畑野順一	関西聖書神学校の創立100周年を迎えられて、主の御名を覚えて感謝します。宗教法人化、新校舎の献堂と続き、神学校の日本および世界宣教の第2世紀に向けて、聖霊の豊かな導きと祝福をお祈りします。
小平德行*	塩屋は1年間でしたが、生まれてから今に至るまで、塩屋出身の先生方によって養われてきました。主の摂理によって、この霊の流れの中にあり感謝ですが、この恵みを真に受け継ぐことができるよう願わされています。
小平(旧:黒田)多恵子*	祝、100周年！神学校での4年間は、自らを知り、主のお取り扱いの時でした。祈りと御言葉、規則正しい生活は感謝でした。卒業の日の、いよいよ遣わされるという感動と喜びを忘れず、献身者生涯を全うできますように。
丸大 勝*	澤村五郎師、向後昇太郎師、小島伊助師などが、生けるキリストと全幅の福音をご生涯を賭けて語り続けてくださり、教え子たちが整えられ塩屋の山から日本と世界に遣わされて行きました。塩屋の独自性を失うことなく、益々祝福され主に用いられるように祈ります。
鎌野直人*	関西聖書神学校が、神の絶大な恵みを受ける場所、教会とともに、教会を強くする奉仕のわざに与る場所、広がる海の彼方へと働き人を送り出す

	場所、そして学びと休息のために人々が帰ってくる場所となりますように。
辻林和己*	卒業式後、ある先輩に卒業したことを報告しました。すると一言、「主のあわれみやね。」自分を誇る思いが吹き飛びました。神学校での学びや訓練等、すべて神の恵みです。今も、その恵みに支えられ歩んでいます。
李 弦*	創立100周年おめでとうございます。研修期間に、台南神学校の共同生活や献身の初心を思い起こすことができ、心から感謝致します。「イエス・キリストは、昨日も今日も、永久に変わることがありません。」忠実な献身者を起こされるよう祈っています。
宇井英樹*	塩屋の3年間は、祈りとみ言葉を土台にした生活を建て上げてくれました。主にある友人たちが与えられたことも感謝です。主の祝福が関西聖書神学校の上であり、日本の教会が強められ、福音が世界中に届きますように。
鎌野喜恵子	100歳、なんと素晴らしいことでしょう。100年以上の聖徒たちの祈りと愛と涙の溢れた関西聖書神学校が、ますます恵みの内に前進発展成長なされますよう祝福をお祈りいたします。
後藤健一*	頌主 関西聖書神学校100周年、主にあつて心よりお慶び申し上げます。主が御校を尊く用いられ小生にも良き御薫陶を賜り今まで何とかご奉仕ができました。この主の恵みなければここまで来られませんでした！感謝です！
上森泰造*・恭子*	万事聖霊 万事祈祷
八幡輝生*	卒業して45年になります。当時は神学生が溢れるほど在学していました。他教団出身の神学生も多くいて、視野を広げる機会になりました。今も変わることなく超教派神学校であることは誇りとするところです。
鎌野かをり*	関西聖書神学校が、これからも神様の恵みのわざによって主の働き人を整え訓練し、日本・世界へと遣わしていくことが出来ますように。そのために働き人が起こされますように。
栗本高仁*・佐和*	在籍4年間で、旧校舎、引越し、新校舎のすべてを経験できたことは特別な思い出です。関西聖書神学校は、私たちにとって、今までもこれからも大切な場所です。多くの人々にとっても、そのような場となりますように。
清水百合*	80周年の年、主は、本科生として入学した私を I ペテロ1:5-7の御言葉で励まして下さいました。葛藤だらけの学生生活に感謝しています。内住のキリストとの豊かな交わりの中で、日々新創造される喜びで勝利し続けたいです。
吉川潤*・洋子(旧姓久楽)*	1980年の卒業後、近くで開拓牧会をし、45年経ちました。ここで学べたことを感謝し、この記念日をきっかけに「塩屋の山」に戻り、共にこの国の救いのために働かせていただきたいと願っています。